

| | | |
|-------------------|---|--|
| <p>受賞者氏名</p> | <p>安積伸</p> <p>共同制作者： 近藤聡美（株式会社イトーキ:プロデューサー） 江連晴洋（株式会社イトーキ:ディレクター）</p> |  |
| <p>所属</p> | <p>デザイン工学部システムデザイン学科</p> | |
| <p>受賞年月日</p> | <p>2021年10月21日</p> | |
| <p>国内・国外</p> | <p>国内</p> | |
| <p>授与機関等名称</p> | <p>公益財団法人日本デザイン振興会</p> | |
| <p>受賞名</p> | <p>グッドデザイン賞</p> | |
| <p>受賞(研究)内容詳細</p> | <p>受賞対象名； ハイテーブル・テーブル・ベンチ （製品名： フロウラウンジ シンボルツリーファニチャー ）</p> <p>中央にシンボルツリーを持ち、オフィスで求められる快適なコミュニケーション空間と軽便なワーキングスペース同時に提供する家具のデザイン。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外環境やガーデンファニチャーの要素を取入れ、快適で緑視率の高いオフィス空間を家具によって実現する。 ・ シンボルツリーを中心に快適な人の集う場をつくり、ベンチ・テーブル・ハイテーブルまで3段階の高さに対応し、オフィスにおける様々な用途に適合する。 ・ 柔らかな三角形を描く天板（座面）形状が、使用者に集中・交流の使い分けを自然に促すデザインとなっている。 <p>この家具は1996年からロングセラーとなっている拙作、「庭」をモチーフとしたシリーズ「FlowLounge」の発展形として、新たにデザインを行ったものである。</p> <p>「人間は本能的に自然とのつながりを求める」という考え方に基づき、植物の要素をオフィスに取り入れリラックス感を与える事で活発なコミュニケーションを促し、オフィスワーカーのモチベーションやパフォーマンスを向上させる試みである。</p> <p>中心にシンボルツリーの緑をたくわえ、今日のオフィスで求められる「快適なコミュニケーションスペース」「気軽に集中できる作業スペース」を同時に提供するデザインとなっている。</p> <p>角のとれた三角形（おにぎり型）の天板は、座る場所により交流と集中が選択可能なデザインとなっている。</p> <p>また同じ天板を用い、ベンチ・テーブル・ハイテーブルといった3つの高さ違いのバリエーションを持つことで、複数の用途に対応が可能なデザインとなっている。また高さ違いのデザインを複数置く事で現れるランドスケープにより、空間に奥行きを与えることを意図している。</p> | |